

11 番（小川義昭君）

今、副市長のほうから答弁ございましたように計画満了まであと半年であります。ぜひ達成に向けた取り組みを引き続き実行していただきますようお願いいたします。

また、本市第2期総合戦略策定に向けては、第1期4年間の検証、そして今年度の結果をぜひ反映していただき、白山市の未来社会に対応できる総合戦略となるようよろしくをお願いいたします。

それでは次に、「市民の日」の制定についてであります。

本日の一般質問において、私はシビックプライドというふるさと愛の概念を通して、市政のありようを問いかけたつもりですが、市民の皆さん一人一人が心一つにして、積極的にふるさとの将来に思いをはせる記念日として、「白山市民の日」を制定することもまた、市民のための地方自治を象徴する手だてになるのではないかと考えています。

合併後の白山市にとって、最大のテーマとなったのは、広範囲にわたる旧8自治体の市域の市民融和と新市白山市へのスムーズな移行にありました。幸いにして、合併から14年が経過した今、私たちが暮らす白山市は住みよさランキングで1位の栄冠をつかみ取るほど、順当に成長を続けているのではないのでしょうか。

早いもので、本市は来年2月1日、新市移行後、記念すべき合併から15年目の節目を迎えることとなります。

この日を境に、白山市が今後ますます発展していくためにも、また、市民の間の一体感をより大きく強く醸成するためにも、白山市が誕生した2月1日を白山市民の日と定め、市長が掲げられている市民協働の象徴、住みやすい都市の象徴とされてはいかがでしょうか。

それはまた、私が改めて強調したシビックプライドを実践する何よりの記念日にもなるのではないのでしょうか。白山市民の日の制定について、何とぞ市長の前向きな御見解をお聞きいたしたいと思います。